

## 平成26年度事業報告書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

### I 事業概要

一般財団へ移行後1年目の事業として、公益目的の継続事業である、環境教育事業（環境日記事業）を中心にして活動いたしました。この事業には、新たに外務省の後援を頂きました。

グリーンクロスインターナショナル（GCI）メンバーとして今年度も国際会議へ積極的に参加して運営について提言、協力してまいりました。

GCI各国支部との協力、支援については、グリーンクロススイスと協力してイベントを行いました。グリーンクロススリランカには支援とプロジェクトへの助成をいたしました。

### II 事業内容

#### 1. 環境教育事業

##### 1) 「みどりの小道」環境日記

##### 1. 「みどりの小道」環境日記の全国小学校への無償配布

昨年につづき、環境省、文部科学省、外務省、東京都などの後援を受けて「みどりの小道」環境日記2014年を製作し、希望の全国小学校、こどもエコクラブ等へ無償配布した。

- ・総配布冊数 : 98, 501冊（879団体）
- ・配布対象 : 小学生 配布を希望する小学校及びこどもエコクラブ等
- ・実施期間 : 平成26年4月1日～平成27年3月31日
- ・後援団体 : 環境省、文部科学省、外務省、東京都

##### 2. 第16回「みどりの小道」環境日記コンテストの実施

- ・コンテスト名称 : 第16回「みどりの小道」環境日記コンテスト
- ・応募総数 : 5, 155名（128団体）
- ・審査 : 予備審査会（第1次～第3次）  
: 最終審査委員会 平成26年10月28日実施
- ・表彰式の開催 : 平成26年12月13日、東京ビッグサイトで行った。  
環境大臣賞、文部科学大臣賞、外務大臣賞、東京都知事賞の各賞が個人、団体に授与された。  
表彰式にはスリランカの日記に取り組んだ上位入賞者児童4名も参加した。

##### 3. 「みどりの小道」環境日記シンポジウム開催

第16回「みどりの小道」環境日記コンテスト表彰式を開催するとともに、全

国から環境日記に取り組んだ子どもたちが会場に集まり、エコプロダクツ2014で実施しているこどもエコツアーに参加し、また全国の子どもたちとの相互の交流を図り、環境意識をより深めてもらうため開催した。

- ・日 時 : 平成26年12月13日
- ・場 所 : 東京ビッグサイト レセプションホールB
- ・特別協力: エコプロダクツ2014
- ・協賛団体: コスモ石油株式会社、三菱製紙株式会社、ニチバン株式会社、富士フィルムホールディングス株式会社、日本航空、帝人株式会社、日本軽金属株式会社、味の素株式会社、株式会社日清製粉グループ本社、JFEホールディング株式会社、日本生活共同組合連合会
- ・協 力 : 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ、NPO法人里山保全再生ネットワーク、株式会社アイシーエム

#### 4. エコプロダクツ2014でこどもエコツアーを実施

こどもエコツアー「エコプロエコキッズ探検隊」を実施し、一般の参加申し込みの子どもたちを、希望のカテゴリー別に班として、出展企業の各ブースを訪問し企業の環境への取り組みの説明を受け、子どもたちに環境意識を深めてもらった。

## 2) その他

### 1. GCIの国際会議への参加

平成26年10月 岩崎理事長 GCI理事会出席 (スイス)  
GCIへ助成金を拠出した。

### 2. GCスイスとの協力

#### ① サマーキャンプ

チェルノブイリ周辺での支援活動実績のある、GCスイスと協力して、大震災の影響で、いまだに避難している子どもたちを、夏休みの間に自然豊かな屋外でノビノビと活動してもらうため、サマーキャンプを実施した。

日 程: 平成26年7月29日～8月1日

キャンプ地: 越後妻有 (新潟県十日町)

対 象 者: 郡山市、福島市、近隣の市町村在住 の小学生とその保護者

参 加 者: 27名

#### ② GCスイス視察団との意見交換会

GCスイスが、スイスの国会議員をはじめ各国にジャーナリストを含む視察団を組織して来日、一行は原発事故後の福島県の状況を視察した後、10月2日に東京の「日本外国特派員協会」でGCスイスとGCJとの共催で「原子エネルギーについて語るシンポジウム」を開催した。

講師 吉原 毅 氏 城南信用金庫 理事長

松原弘直 氏 環境エネルギー政策研究所 主席研究員

ナタリー・ジシ GCスイスCEO

翌10月3日は東京都内のホテルで視察団の国会議員8名と、日本の国会議員6名で「日本のエネルギーの未来」をテーマとして、率直な意見の交換をし、昼食時には海外のジャーナリスト6名も加わり幅広く意見がかわされた。

### 3. GCスリランカ支援

#### ①「水プロジェクト」

スリランカでの安全で安心な飲料水確保のため マハ・オヤ地区の井戸掘削、簡易浄水と水道事業

GCJとGCIの共同事業で、日量40,000リットルの飲料水が確保される完成は8月ごろで、完成後の運営や保守は地元を引き継ぐ。

助成金を拠出した。

#### ②GCスリランカ創立10周年

日本の援助で立ち上げたGCスリランカは11月に創立10周年を迎え、岩崎理事長が記念式と、スリランカでの環境日記の表彰式に出席した。このあと、大統領府への表敬訪問や小学校等を訪問して子どもたちと歓談した。

運営助成している。

### 2. 収益事業

#### 1) 再生紙販売特別事業

回収した牛乳パックを100%再利用したティッシュペーパーや、古紙100%の再生紙使用のトイレトペーパー等の家庭紙の販売を行なった。

#### 2) 「18回全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」事業受託

全国小中学校環境教育研究会の主催する「18回全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」事業の事務作業を受託して成功のためサポートした。